

グリーン冷媒・機器開発事業

製造産業局化学物質管理課
オゾン層保護等推進室

令和5年度概算要求額 **6.0 億円** (**新規**)

事業の内容
事業目的 <p>モントリオール議定書キガリ改正により我が国では2036年までに代替フロン（HFC）の生産・消費量を基準年比85%まで削減する義務があり、さらに2050年カーボンニュートラルでは排出を全体としてゼロにすることが求められているところ、代替フロンに代わるグリーン冷媒・機器の技術開発と社会実装の加速が急務です。 本事業ではグリーン冷媒の負の側面（燃焼性、性能低下）を認識した上で、有望な冷媒候補の発掘と特性評価、国際規格化・標準化、製品化を目的とします。</p>
事業概要 <p>(1) 委託事業 市場波及効果を踏まえ、代替冷媒候補が存在しない家庭用エアコン・一部の業務用エアコン等をターゲットに、①我が国企業が強みを有するHFO系冷媒を用いた低GWP混合冷媒の組成の早期絞り込み（GWP70程度）、②冷媒の物性・性能評価、③開発冷媒適用機器の安全性・LCA等の評価を行います。これを踏まえ、新たな混合冷媒の共通基盤を完成させることにより、民間企業の機器開発を後押しします。</p> <p>(2) 補助事業 次世代冷媒への代替が困難な分野において、省電力化の維持・向上を前提としつつ、冷凍空調機器や要素機器の高度化開発、冷媒漏えい防止技術の開発等を支援します。</p>

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）
<pre>graph LR; A[国] -- 交付金 --> B["(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)"]; B -- "(1)委託" --> C["大学・公的研究機関等"]; B -- "(2)補助 (1/2)" --> D["民間企業等"];</pre>
成果目標 <p>令和5年度から令和9年度までの5年間の事業であり、最終的には省エネ化・低温室効果を両立する新たな混合冷媒及びその適用機器の開発及び普及を目指します。（令和18年度において、冷媒転換により約556万t/年相当のCO2削減を目指します。）</p>